



2019 現業闘争

支部団体交渉が行われる

2019年10月31日(水)第3庁舎16階会議室において、2019現業統一闘争の団体交渉が行われた。支部から現業闘争の再質問が行なわれ、局からの回答について了承した。また、台風19号に伴う災害廃棄物の対応に係る諸課題について話し合われた。

冒頭、局長あいさつで、台風19号災害廃棄物対応に係る謝意があり、支部長から災害廃棄物対応について現場から挙げた意見を話し合いたいと述べられた。

次に、現業統一闘争に係る再質問事項の回答について、粗大ごみのふれあい収



集が増えていいる現状について話し合い、現業闘争再質問の局回答を了承した。台風19号に伴う災害廃棄物対応について話が移り、次の7点について質問がなされた。横浜清掃からの受援について、支部に事前説明がなかった。事前協議の遵守をどう考えているのか。事業系災害廃棄物をどこまで直営で収集するのか。今回の諸課題を検討するため災害対策検討委員会を開催するべきではないか、各部署の指示連絡体制について不備はないか。粗大ごみ処理施設で災害ごみを日曜日の昼休みに受けなかったこと

指示連絡に一部不備があった。今後、是正していききたい。台風上陸前日に対策委員会を開催するよりも日頃から災害に対して話し合うほうが重要と考える。災害廃棄物対応の保護員についてには必要な保護員を配布するが非常時に必要な保護員をどう準備しておくのか。7つの質問に対する局回答は次の通り。横浜清掃からの受援については貴支部との事前協議からもれた。今後、事前協議についてはできる限り行う。事業系災害廃棄物収集の線引きについては、今後、貴支部と協議していききたい。災害対策検討委員会を開催すべきと考えている。貴支部と協議していききたい。災害廃棄物の収集で事業所と本庁間で一部連絡に不備があった。今後は、連絡体制を密にしたい。粗大ごみ処理施設受託事業者との指示連絡に一部不備があっ

た。今後、是正していききたい。台風上陸前日に対策委員会を開催するよりも日頃から災害に対して話し合うほうが重要と考える。災害廃棄物対応の保護員についてには必要な保護員を配布するが非常時に必要な保護員をどう準備しておくのか。最後に支部から、災害対応については直営だからこそ柔軟に対応できたのではないかと、また、強制圧縮車については、その必要性を改めて感じたのではないかと、災害対応に必要な車両や機材についてどう考えているか、という質問がなされた。局から強制圧縮車の必要性について再認識した、今後、様々な災害対応に必要な車両や機材について検証していききたい、また、直営による対応については、職員間のコミュニケーションの取りやすさが強みであると感じた、との回答がなされた。粗大ごみ処理施設受託事業者との指示連絡に一部不備があった。

(教宣部)

川崎市職員労働組合 清掃支部 発行
川崎市川崎区東田町 7-2 東田ビル 2階
電話 044(222)5906
発行責任者 渋谷 勝美
編集責任者 稲葉 拓也

清掃支部ホームページ QRコード

市民と働く者のフェスタへ参加!

イベントブース 1日350人超 来場



2019年11月3日(土)サンピアン川崎広場において、市民と働く者の「フェスタ」が行われた。川崎労働協から協力要請があり、来場する市民へ私たちがの仕事を紹介できる場になることから参加した。イベント開始前に会場周辺の美化活動を行い、準備を整え市民を迎えた。清掃支部のブースでは、ミニスケルトン車の展示と写真撮影、分別ゲームを行った。分別ゲームは引いたカードに描いてある絵を川崎市の分別ルールで分別してもらった。イベントブースには1日で350人超の来場があり、それぞれのコーナーで多くの市民の方たちとふれあう事ができ、清掃事業の取り組みについて関心を持っていただける良い機会になった。

(教宣部)

直営をわねる

仲間達 (347)

今回紹介する仲間は、中原分会の小川昌宏さんです。今回初めて分会役員になり、分らないことばかりですが頑張っていきたいと意気込んでいます。最初に配属された多摩生活環境事業所には21年間勤め、現在は異動して中原生活環境事業所で3年目に入りました。早いもので26歳の入庁から24年がたち50歳となり、感慨深いものがあります。清掃一筋でやってきて、改めて清掃の仲間はサイコーで、こんな素晴らしい仲間の中で最後まで業務を全うしていきたいと力強く語ってくれました。

隣に居る仲間を想う

〜在日外国人と日本人は国籍・

第20回

林慶一

民族を超えていけるか

そんなヨンスが、やはり日本へ帰ろう、と決心したきつかけは、史学科の李南姫（イ・ナミ）との出会いがあったからでした。ある日の学生食堂での出来事でした。ナミはヨンスと目が合うなり、微笑みながら近づいてきて、私と一緒に住まないかと話しかけてきたのです。ナミは、よく見る史学科の学生の地味な外見は違って、華やかな英文学

詳しく話を聞いてみることにしました。ナミの話によると、父親の事業が成功してアメリカに進出することになり、家族でアメリカに移住することになった、でも自分はまだ学校があるから卒業してから移住する予定である、さらに今住んでいる麻浦区のマンションを売り払い、江南区のマンションを新たに買うことになって、卒業するまで私がそこに一人で住むことになった、そのマンションは一人で住むには広いので誰か一緒に住む人を探していたら、ちょうどあなたと目が

合って、なんとなく話しかけてみた、とのことでした。もちろん最初は断りました。一緒に住む理由もないし、ほぼ初対面の人と、しかも異性と一緒に住むなんて家族にも反対されるんじゃないの？と言いました。すると、確かにそれはクリアすべき問題だけど、部屋は完全に分かれていてプライベートは保障されている、家賃は毎月かかるマンション管理費と光熱費を完全折半、ただし、最初に入居時保証金八百万ウォンの二分の一、つまり、四百万ウォン払えば、正当な契約

になるから家族にも問題なく話せるし説得できる、と言いました。それを聞いてヨンスは少し考えを変えました。四百万ウォンといえど当時のレートで約五十万円でした。決して安くはないけれど、やがてまた、そこを出るときにそのお金は戻ってくるので、長い目で見れば安上がりなのでしょう。その時はまだ、韓国にしばらく住む予定だったので今の賄い付きアパートより、生活費がさらに安く上がりそうな気がしていました。最初の五十万円さえ用意できればそのマンション

に移れる、ほぼ初対面だけれどちょっと魅力的なナミと同居できると考えると、ちょっとウキウキしていました。自分がいました。一度その考えをしまつともう他の選択肢は考えられなくなつて、契約する方向で、一週間ほど考えさせてほしい、とつい言ってしまったのでした。その後、ヨンスの身にいろいろな事件が起き、結局日本へ帰るといふ選択をせざるを得なくなるのですが、今回はここまでとします。

民族差別とヘイトスピーチを許さない市民集会

2019年11月25日

(月) 鎌倉芸術館で鎌倉市議会における民族差別とヘイトスピーチを許さない市民集会が開催された。

集会の内容は、鎌倉市社会福祉協議会の不当労働行為をめぐって、労使交渉に参加した日コリアン2世の金秀一さんに対して、上畠寛弘議員が鎌倉市議会で「出身が出身だけに怖い」等の民族差別発言をしたことに対して、名譽の回復と被害の拡散防止を目的に上畠議員と鎌倉市を横浜地裁に提訴した件についての経緯や経過の報告。

議員は議院で行った演説・討論・表決について、院外で責任を問われないう憲法で定められた免責特権を持っている。しかし、それが悪用されると鎌倉市議会の中であつたように議員による人権侵害が起きてしまつた。

この集会を通して、人権の大切さとそれを守ることの難しさを感じた。

(教宣部)

分会だより

190

多摩分会

こんにちは多摩分会です。寒くなってきた今日この頃、多摩事業所内下足室

前の水道にお湯が出るようになりまし。今まではとても冷たい水しか出ず冬は結構辛かったです。今年からはお湯で手を洗え皆良かったと言っておりました。今年もあと僅かですが健康状態に気を配り元気に過ごしましょう。

さて多摩分会では数年前、事故強化施設に指定される不名誉が続き副分会長を中心に多摩安全部会を設置し、安全についての様にしたら事故が無くなるか色々試行錯誤を重ねております。そして当事業所管内

狭山事件の再審を求める市民集会

2019年10月31日

(木) 日比谷野外音楽堂で狭山事件の再審を求める市民集会が開催された。

狭山事件は部落出身で学校教育を受けていなかった石川一雄さんが、1963年5月1日に埼玉県狭山市の女子高校生殺害で起訴された事件。石川一雄さんは、1審2審で有罪判決がされたため、獄中で32年間服役し、仮出獄後、東京高裁に再審請求を申し立て再審と無罪判決を求めている。

客観的な証拠や証言でなく、自由による起訴と、石川さんが単に部落出身者であるから怪しいという警察の先入観によるあたり捜査は部落差別であり、いけないことだと強く感じた。

集会政党あいさつでは、

民主党の福島さんから、川崎市の市民運営により開催された、「しんゆり映画祭」で起きた、映画「主戦場」の上映中止問題が取り上げられた。訴訟になつてい

るから被害者のものであると疑いがあり、石川さんは無実だという訴えがなされていた。

客観的な証拠や証言でなく、自由による起訴と、石川さんが単に部落出身者であるから怪しいという警察の先入観によるあたり捜査は部落差別であり、いけないことだと強く感じた。

(教宣部)